

補正予算の 主な質疑

デジタル推進事業に 702万円

一般会計補正予算の主な内容

デジタル推進事業 702万円
行政情報配信システムの構築経費の追加

まちづくり推進事業 143万円
移住施策実施に向けた体制強化への対応

地区コミュニティセンター費 347万円
分館を整備するための補助の追加

町道維持補修費 1300万円
路面補修などの維持補修工事の追加

**住民税非課税世帯電力・ガス・食料品等
価格高騰重点支援事業** 4388万円
対象世帯への給付金の支給

企業立地促進事業 6000万円
企業の立地を進めるための補助金の追加

子育て世帯生活支援特別給付金事業 591万円
低所得の子育て世帯への給付金の支給

魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業 133万円
経営体の育成を図るため機械導入などへの支援

6次産業化推進拠点施設整備事業 1189万円
6次産業化推進施設の実施設計

酪農生産費高騰緊急支援事業 1100万円
国県と連携して酪農家へ支援

など2億890万円を補正し、
一般会計予算総額は89億4620万円となった。

◎財源は、国・県支出金、繰越金などで対応
します。

※万円未満は端数調整

電子申請の推進

〔横山委員〕行政情報配信システム構築経費を追加するが、その内容、目的、効果は何か。

〔企画政策課長〕電子申請システムを構築するため追加するもの。サービス内容は検討中だが、マイナンバーによる本人確認を行うことで、証明書などの電子申請が可能になる。

移住促進施策の推進

〔丸川委員〕移住施策のため会計年度任用職員を配置するが、主な理由は何か。

〔企画政策課長〕ポストコロナにあたり、これまで制限してきた移住促進広報活動や移住体験事業などを今年度は活発に行っていくためである。

分館施設整備事業への対応

〔佐々木委員〕1千万円を超える予算額になってきた。今後老朽化が進み申請が増えた場合、予算対応していくのか。

〔町長〕分館の維持は利用者に対応することが基本となっている。しかしコミュニティを考えた場合、相談をさせていたがなかなかでき



屋根を改修した荒砥新町分館

る限りの応援はしていきたい。

町道維持補修費

〔佐々木委員〕各地区から要望も多く出ていると思うが、さらに追加対応という考えはあるか。

〔町長〕有利な制度、財源を使いながら幅広く対応していきたい。箇所など具体的に話をいただければありがたい。